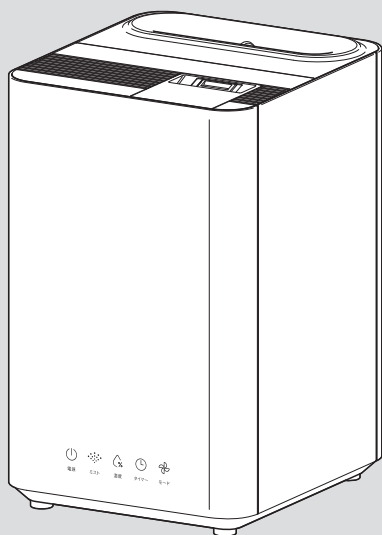


THREEUP

マルチモードハイブリッド加湿器 「スチームミスト」

HB-T2582

取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

目次

はじめに

安全上のご注意	1 ~ 3
各部のなまえ	4 ~ 5
パッケージ内容	5
別売品	5
仕様	5

ご使用の前に

知っておいていただきたいこと	6
設置について	7
水タンクに水を入れる	7 ~ 8
リモコンについて	8

ご使用方法

運転する	9
停止する	10
運転モードを切り替える	10 ~ 11
ミスト量を切り替える	12
湿度設定モード (自動運転)	13
オフタイマーを設定する	14
UV運転する	15
チャイルドロックを設定する	16
水タンクの水がなくなると	16

点検・修理

お手入れと保管方法	17 ~ 19
コンセントの点検	20
故障かな?と思ったら	20 ~ 21
保証・サービス	22

はじめに

安全上のご注意

火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。
また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	-----------------------------------	---	---------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

   	この図記号は「禁止」されている内容です。	 	この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。
火災、感電、故障、けがの原因になります。
分解や修理をしないでください。修理が必要な場合は、スリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気の多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。
本体やリモコンを水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。



禁止

お子様や取り扱いに不慣れな方、ご自分で体温調節のできない方だけで使ったり、触れさせたりしないでください。
感電やけが、事故の原因になります。

屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。

絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。
動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本体の変形によるショート、発火の原因になります。

吹出口から給水しないでください。
故障や感電、水漏れの原因になります。

吹出口や吸気口、すき間にピンや針金などの異物を入れたり、ふさいだりしないでください。

- けがや事故の原因になります。
- 過熱による本体の変形、発火の原因になります。

ミストやスチームを故意に吸入しないでください。

健康を害する原因になります。

延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは使用しないでください。

コンセントや電源プラグ、電源コードが異常発熱し、発火するおそれがあります。

引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。

また、本体に向けて吹きかけないでください。
爆発や火災の原因になります。

乳幼児の手の届く所にボタン電池を置かないでください。

ボタン電池を誤飲する原因になります。
万一、誤飲した場合はすぐに医師にご相談ください。

ボタン電池を火の中に入れたり、水に濡らしたりしないでください。

また、分解や加熱をしないでください。
破裂や発熱の原因になります。



接触禁止

運転中または運転停止直後は、スチームや吹出口の周辺に顔を近づけたり、超音波振動板に触れたりしないでください。

やけどの原因になります。

警告

電源は必ず家庭用100V電源で使用してください。

異なる電圧での使用は故障、火災の原因になります。

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。

ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源コードと電源プラグを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだりしないでください。
- 損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

長時間リモコンを使用しないときは、ボタン電池をリモコンから取り出してください。

- 消耗したボタン電池を入れたままにしておくと、液漏れや腐食により、リモコンが故障する原因になります。
- 液漏れを起こした場合は、液に触れないように注意し、すぐに電池を取り出してください。
- 漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。万一、液が目に入った場合はすぐに多量の水で洗い流し、医師にご相談ください。

ボタン電池を保管、廃棄する際は、電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼ってください。

- 複数のボタン電池が重なり合うと、一方のボタン電池が導線として働き、電極がショートして破裂や発熱を引き起こし、火災につながるおそれがあります。
- 廃棄する際は、お住いの市長村区の指示に従って廃棄してください。
- ヘアピンやコインなどの導電物と一緒に保管したり、持ち運んだりしないでください。
- 高温になる場所(屋外、直射日光の当たる場所、ストーブやガスコンロの近くなど)に保管しないでください。



必ず守る

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。

誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音がする。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



必ず守る

注意



禁止

本製品は家庭用です。業務用として使用しないでください。

故障の原因になります。



禁止

家具や壁、カーテンにミストが直接当たる場所には設置しないでください。

シミや汚れの原因になります。

⚠ 注意

テレビやパソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。

結露による故障や雑音が入る原因になります。

踏み台にしたり、腰掛けたり、もたれかけたりしないでください。

また、製品の上に物を置かないでください。転倒、破損によるけがや事故の原因になります。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

水平で安定している場所に設置してください。斜面など不安定な場所に設置すると、転倒により水が漏れて周囲を濡らす原因になります。

また、高所から落下すると、けがや破損の原因になります。

水タンクと本体(水そう部)の水が凍結するような場所では使用しないでください。

故障の原因になります。

薬品などの周囲では使用しないでください。本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

湿度の高い場所(75%以上)では使用しないでください。

家具や壁を湿らせ、雑菌やカビが繁殖し異臭や故障の原因になります。

運転中は移動させたり、傾けたりしないでください。

水漏れや故障の原因になります。

運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、水タンクと本体(水そう部)の水を捨ててから移動してください。

常温の水道水以外は使用しないでください。

- 浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- 40℃以上のお湯や化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤、アロマオイルを入れた水などは、製品の変形、故障の原因になります。

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。



禁止

ボタン電池を素手で取り扱わないでください。

- 電極(+/-)を素手で同時に触ると、一気に放電して、消耗を早める原因になります。
- 汗や手油などが付着すると、接触不良の原因になります。

ダクトカバー、逆流防止弁と吸気フィルターを取り外した状態で運転しないでください。故障の原因になります。

本製品の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。

水タンクと本体(水そう部)の水は毎日新しい水道水と入れ替え、常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。

水を入れ替えずに長時間使用すると、雑菌やカビが繁殖して異臭や健康を害する原因になります。



必ず守る

長時間使用しない場合や、お手入れ、保管の際は、水タンクと本体(水そう部)に残った水を捨ててください。

- 水タンクと本体(水そう部)に水が入ったままでお手入れをすると、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。
- 水タンクと本体(水そう部)に水が入ったままで保管すると、雑菌やカビが繁殖し異臭の原因になります。

ボタン電池は電極(+/-)の向きに十分注意して装着してください。

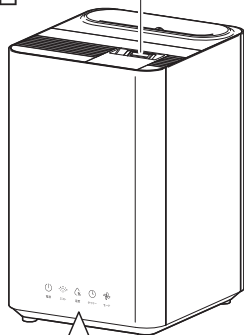
正常に動作しない原因や、リモコンの故障の原因になります。

各部のなまえ

■ 本体

正面

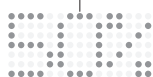
吹出口



表示/操作部

ディスプレイ

ミスト量、湿度、オフタイマーの時間などを表示します。



リモコン
受信部



モード
ボタン

電源ボタン

ミストボタン

タイマーボタン

湿度設定ボタン

本体(水そう部)

ダクト

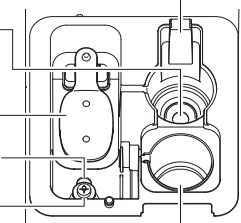
超音波
振動板

フロート

UVライト

水位感知
センサー

ヒーター



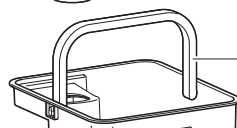
背面



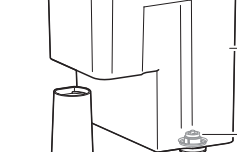
カバー



ダクト
キャップ



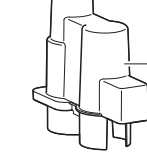
取っ手



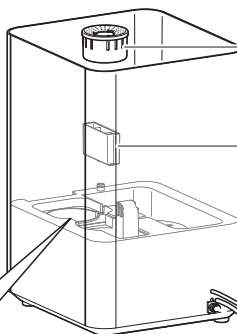
水タンク



給水弁



ダクトカバー



抗菌
カートリッジ

逆流防止弁

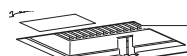
湿度センサー



電源コード

電源プラグ

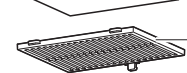
底面



吸気口



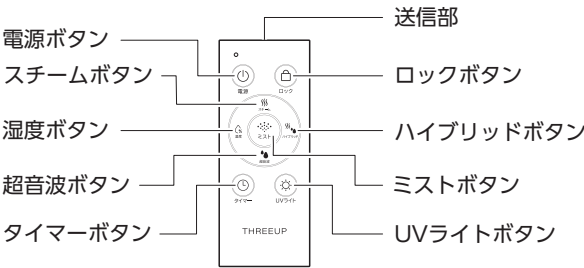
吸気フィルター



フィルターカバー

■ 付属品

● リモコン



パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部 品 名	個数	部 品 名	個数
本体	1	取扱説明書（保証書付き）本書	1
抗菌カートリッジ	1	リモコン（CR2032電池内蔵）	1

別売品

下記の別売品または付属品をお買い求めの際は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部 品 名	個数	製品単価（税抜）
抗菌カートリッジ	1	900円

仕様

本体サイズ	幅20×奥行22.5×高さ32 cm	本体重量	約2.3 kg
材質	ABS、PP	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	ハイブリッドモード（ミスト強）/275W、 スチームモード/250W、 超音波モード（ミスト強）/25W	タンク容量	3.8 L
運転モード	超音波モード、スチームモード、ハイブリッドモード、湿度設定モード：40～90%（5%単位）、 UV運転、加湿3段階（強・中・弱）		
最大加湿量	560 mL/h（ハイブリッドモード ミスト最大時）、 300mL/h（スチームモード時）、 270mL/h（超音波モードミスト最大時）	連続運転時間	約5.5時間～約15時間
オフタイマー設定	1～12時間（1時間単位）	加湿方式	超音波、スチーム、超音波＋スチーム
適用床面積（目安）	14畳（洋室、プレハブ）、 8.5畳（和室、木造）	機能	メモリー機能、減灯機能、上部給水、 チャイルドロック
安全装置	水位感知センサー、空焚き防止装置、 湿度ヒューズ	コード長	約1.5 m

※ 製品は改良のため、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。
※ 加湿量や適用床面積（目安）は、使用環境により異なります。

ご使用の前に

知っておいていただきたいこと

■ 加湿方式について

- 超音波モードの加湿方式 … 超音波式
超音波振動板によって水をミスト（霧状）にして、ファンで空気中に放出して加湿します。
- スチームモードの加湿方式 … スチーム式
本体のヒーター部で水を沸騰させて発生したスチームで加湿します。
- ハイブリッドの加湿方式 … 超音波式＋スチーム式
上記の2つのモードを動作して加湿します。

■ 周囲湿度について

周囲湿度は、本体背面の樹脂ケースに内蔵されているセンサーが感知する湿度になります。

■ 水漏れについて

- ご使用の環境によって、まれに水漏れが起こる可能性があります。
 - ・水温0～6℃（厳冬時に注意）
 - ・暖房器具の近くで使用
- 床に水タンクを落下させた場合や衝撃を与えた場合に水タンクの接合部に小さな亀裂が入り、水漏れを起こす場合がありますので、取扱いにはご注意ください。

■ 抗菌カートリッジについて

抗菌カートリッジの内部には、雑菌の繁殖を防ぐためのセラミックボールが入っています。
約6か月に1個を目安に、新しい抗菌カートリッジと交換してください。
週に2回以上すすぎ洗いをしてお手入れをおこなってください。

■ ガスコンロの炎が赤やオレンジになる現象について

ガスコンロ付近で加湿器を使用すると、ミスト（水道水）に含まれるカルシウムや微量のアルカリ金属がガスコンロの炎と反応して、赤やオレンジになることがあります。
窓を開け、換気しながらご使用ください。

■ 本体（水そう部）の汚れについて

本製品を長く使用すると、本体（水そう部）や超音波振動板に汚れや白い粉が付着します。
これらは水に含まれているミネラル分やカルキ、銲物成分などが結晶として現れるものです。
加湿性能の低下や故障の原因になりますので、定期的にお手入れをおこなってください。

ヒーター部周囲の汚れ（スケール、水あか）について

水道水を加熱して蒸気を発生させるときにスケール（蒸発残留物：カルシウムなど）や水あかが発生します。汚れは使用に伴い固着していきます。放置すると加湿機能の低下や故障の原因になりますので、必ず定期的にお手入れをしてください。

ご使用の前に

設置について

■ 設置条件

- ・製品の周囲は右図で示した距離を空けてください。
- ・斜面や毛足の長い敷物の上など、不安定な場所には設置しないでください。

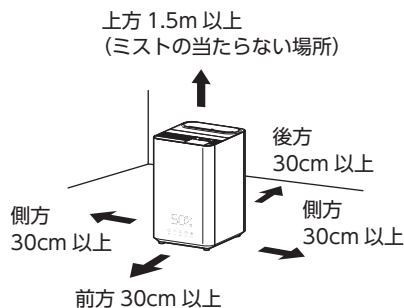
■ 安全装置

温度が上昇しすぎるとサーモスタットが作動し、自動的に運転が停止します。

少し時間をおいて温度が下がれば、運転を再開できます。

異常な温度上昇を感知した場合は、温度ヒューズが作動し、回路を遮断する場合があります。

その場合は温度が下がっても運転は再開できません。



水タンクに水を入れる

⚠ 警告



必ず守る

- 水を入れる際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因になります。

⚠ 注意



必ず守る

- 必ず水道水を入れてください。
一般に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいからです。
- 水タンクと本体（水そう部）の水は毎日新しい水道水と入れ換え、常に清潔に保ち、定期的にお手入れしてください。
お手入れをせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。
体質によっては、過敏に反応し、健康を害する原因になります。



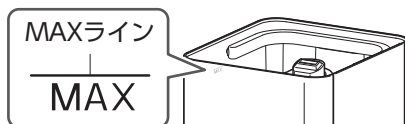
禁止

次のような水は水タンクと本体（水そう部）に入れないでください。

- ・浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- ・40℃以上のお湯や化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤、アロマオイル、エッセンシャルオイルを入れた水などは、製品の変形、故障の原因になります。

給水について

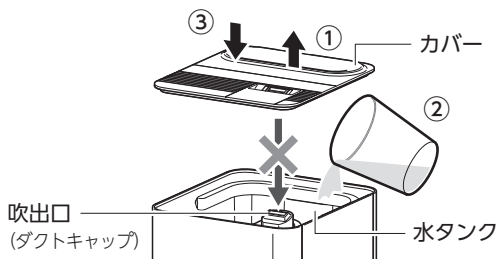
- 給水方法は、水タンクを本体に取り付けたまま給水する方法と、水タンクを取り外してから給水する方法があります。
- 水タンク内にある「MAX」ラインを超えて水を入れないでください。



■ 水タンクに直接給水する場合

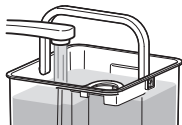
- ① カバーを取り外します。
- ② コップなどに常温の水道水を入れ、水タンクに注ぎ入れます。
- ③ カバーを取り付けます。

吹出口に水を入れないでください。
水漏れや故障の原因になります。

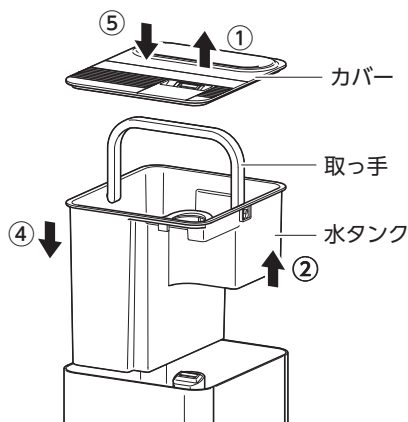


■ 水タンクを取り外して給水する場合

- ① カバーを取り外します。
- ② 水タンクを取り外します。
取っ手を起こしてつかんでください。
- ③ 水タンクに常温の水道水を入れます。
洗面所やお風呂場などで給水してください。



- ④ 水タンクを取り付けます。
取っ手をしっかりとつかんで取り付けてください。
取り付けたあとは取っ手を倒してください。
- ⑤ カバーを取り付けます。



リモコンについて

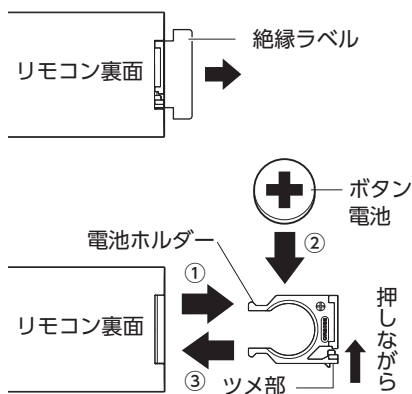
工場出荷の段階でボタン電池が装着されています。
ご使用前に絶縁ラベルを引き抜いてください。

※製品に付属しているボタン電池はテスト用のため、早く消耗する場合があります。

■ ボタン電池の交換方法

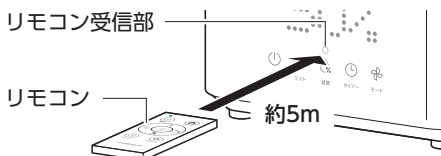
使用するボタン電池は「CR2032/3V」です。

- ① リモコン裏面の電池ホルダーのツメ部を、矢印方向に押しながら引き抜きます。
- ② 新しいボタン電池の【+】を上にして装着します。
- ③ 電池ホルダーを「カチッ」と音がするまではめ込みます。



■ 操作範囲

リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて使用してください。操作距離は直線で約5mです。
テレビやオーディオのリモコンなどを使用した際、まれに本体が反応して動作することがあります。これは本製品と同じ周波数を利用している機器で起きる現象です。
そのような場合は本体に影響しない場所でご使用ください。

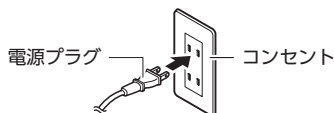


ご使用方法

運転する

■ 運転を開始する

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。
“ピッピッ”と電子音が鳴り、ディスプレイが点灯したあとに消灯して待機状態となります。

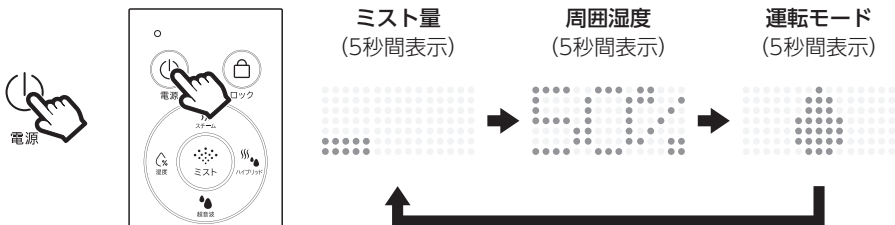


- ② 本体またはリモコンの『電源』ボタンを押すと、吹出口からミストが出ます。
運転中のディスプレイは、ミスト量、運転モード、周囲湿度を繰り返し表示します。
- ボタンを押したときは“ピッ”と電子音が鳴ります。
 - はじめてご使用になるときと電源プラグを差し直したときは、ミスト量「弱」、超音波式モード、湿度設定「OFF」で運転を開始します。
- お好みにより設定を切り替えてください。

操作部

リモコン

ディスプレイ



減灯機能

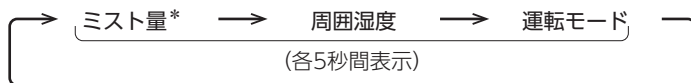
ディスプレイは操作しない状態が1分間続くと減灯します。

メモ

- 周囲湿度は、本体背面の樹脂ケースに内蔵されているセンサーが感知する湿度になります。
- 本製品は上部給水の構造上、水タンクに給水してから本体（水そう部）に水が行きわたるまで約20秒かかります。給水後すぐに『電源』ボタンを押した場合に給水エラーとなることがありますが、本体（水そう部）に水が行きわたると自動でミストが出ます。

■ 運転中のディスプレイ表示について

- 運転中はミスト量、運転モード、周囲湿度を繰り返し表示しながら運転します。



* スチームモードはミスト量を表示しません

- 湿度設定モード、UV運転、オフタイマーを設定した場合は、それぞれの設定内容が上記の表示に追加されて運転します。

停止する

■ 超音波モードを停止する

運転中に本体またはリモコンの『電源』ボタンを押すと、“ピーッ”と電子音が鳴ってディスプレイ表示が消灯し、運転を停止します。

■ スチームモードとハイブリッドモードを停止する

運転中に本体またはリモコンの『電源』ボタンを押すと、“ピーッ”と電子音が鳴ってディスプレイ表示が消灯し、内部冷却のため約30秒間送風運転をおこなったあとに運転を停止します。

メモリー機能

- 一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。（オフタイマー設定、湿度設定モードとUV運転は除く）
- 電源プラグを差し直した場合はリセットされます。

⚠ 注意



必ず守る

- 長時間で使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、水タンクと本体（水そう部）の水を捨ててください。
- 電源プラグを抜く場合は、必ず先に『電源』ボタンを押し、《送風運転の停止》を確認してから電源プラグを抜いてください。運転中に電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

運転モードを切り替える

■ 本体操作で運転モードを切り替える

運転中に本体の『モード』ボタンを押します。

『モード』ボタンを押すたびに運転モードが切り替わり、設定にあわせてディスプレイの運転モード表示も切り替わります。

- 運転モードの表示時間は約5秒間です。
- はじめてご使用になるときに電源プラグを差し直したときは、超音波式モードが設定されています。

ディスプレイ/操作部

超音波式モード



ハイブリッドモード



スチームモード



メモ

- スチームモードを選択すると、加熱が開始されて沸騰近くなると加湿を開始し、約4分後に高温のスチームが出始めます。
- スチームが出始めるまでの所要時間は使用環境や水温により異なります。

ご使用方法

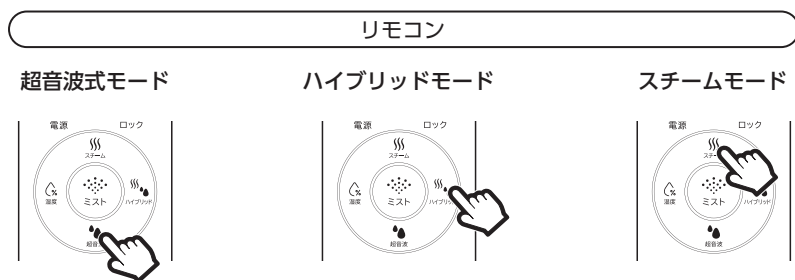
■ リモコン操作で運転モードを切り替える

運転中にリモコンの設定する運転モードのボタンを押します。

運転モードが切り替わり、設定にあわせてディスプレイの運転モード表示も切り替わります。

- 超音波式モードを設定する場合は『超音波』ボタンを押す。
- ハイブリッドモードを設定する場合は『ハイブリッド』ボタンを押す。
- スチームモードを設定する場合は『スチーム』ボタンを押す。

ディスプレイの運転モード表示は、本体操作のときと同じになります。



メモ

- 運転開始後に、“カチッ”と内部スイッチの動作音が鳴ることがあります。異常や故障ではありません。
- スチームモードとハイブリッドモードを選択すると、内部から“シュー”や“ブツブツ”というような音が聞こえます。

本体 (水そう部) の水をヒーター部で沸騰させる音で、異常や故障ではありません。

ミスト量を切り替える

■ ミスト量の切り替えについて

- ・ミスト量は超音波式モードとハイブリッドモードの設定時のみ、切り替えることができます。
- ・スチームモードの設定中は、『ミスト』ボタンを押しても反応しません。

■ ミスト量を切り替える

- ① 運転中に本体またはリモコンの『ミスト』ボタンを押すと、ディスプレイに運転中のミスト量の一段上のミスト量を点滅表示します。
 - ・切り替わったミスト量の点滅表示時間は約5秒間です。
 - ・はじめてご使用になるときと電源プラグを差し直したときは、ミスト量「弱」で運転を開始します。

操作部

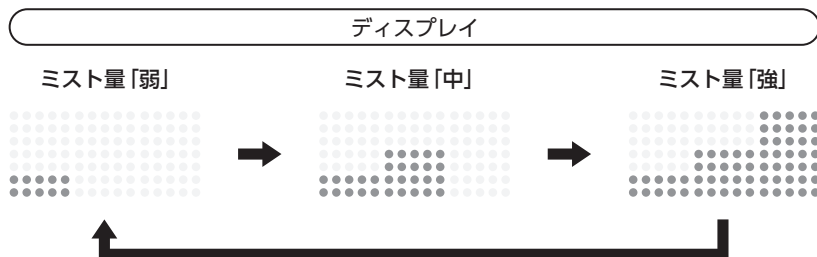
リモコン

ディスプレイ

◎ミスト量「弱」に設定していた場合



- ② ディスプレイの点滅中に繰り返し『ミスト』ボタンを押してミスト量を切り替えます。
ミスト量は「弱」、「中」、「強」の順で切り替わります。



- ③ ミスト量を設定したあと、ディスプレイが点滅表示から点灯表示に切り替わると、設定完了となります。

ご使用方法

湿度設定モード(自動運転)

- 設定湿度と周囲湿度の差にあわせて、自動でミスト量が切り替わって運転します。
 - ・ 設定湿度が周囲湿度よりも低い ⇒ 運転停止
 - ・ 設定湿度と周囲湿度の差が1～5%未満 ⇒ ミスト量「弱」で運転
 - ・ 設定湿度と周囲湿度の差が6～10%未満 ⇒ ミスト量「中」で運転
 - ・ 設定湿度と周囲湿度の差が10%以上 ⇒ ミスト量「強」で運転
- 設定可能な湿度は40%～90%(5%単位)です。

■ 湿度設定モードを設定する

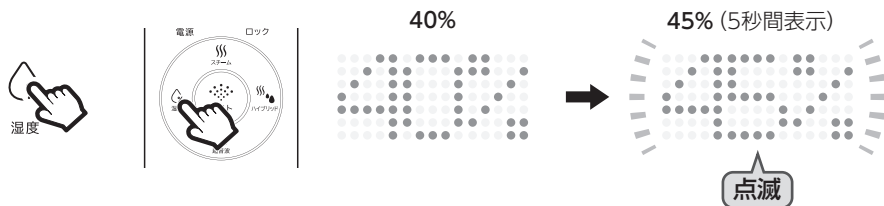
- ① 運転中に本体またはリモコンの『湿度設定』ボタンを押すと、ディスプレイに設定中の湿度よりも5%高い湿度を点滅表示します。
- ・ 湿度の点滅表示時間は約5秒間です。
 - ・ はじめてご使用になるときと電源プラグを差し直したときは、湿度設定は「OFF」となっております。

操作部

リモコン

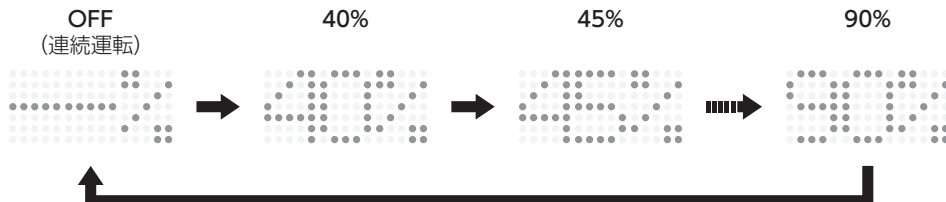
ディスプレイ

◎湿度「40%」に設定していた場合



- ② ディスプレイの点滅中に繰り返し『湿度設定』ボタンを押して湿度を切り替えます。
- ・ 湿度は5%単位で切り替わります。
 - ・ 点滅中に他のボタンを押した場合は、表示していた湿度で設定されます。

ディスプレイ



- ③ 湿度を設定したあと、ディスプレイが点滅表示から点灯表示に切り替わると、設定完了となります。
- 設定湿度が周囲湿度よりも低い場合は、運転を開始しません。
- 設定湿度を周囲湿度よりも高くなるように変更してください。

メモ 『ミスト』ボタンを押してミスト量を変更すると、湿度設定モードが解除されます。

ミスト量を変更した場合は、もう一度湿度設定モードを設定してください

■ 湿度設定モードを解除する

『湿度設定』ボタンを繰り返し押して設定を「— %」にすると、湿度設定が解除されて連続運転に切り替わります。

オフタイマーを設定する

1～12時間の範囲で1時間単位で設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を停止します。

■ オフタイマーを設定する

- ① 運転中に本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押すと、ディスプレイに設定中の時間に1時間加算された時間を点滅表示します。
- ディスプレイの点滅表示時間は約5秒間です。
 - はじめてご使用になるときと電源プラグを差し直したときは、設定時間は「OFF」となっております。

操作部

リモコン

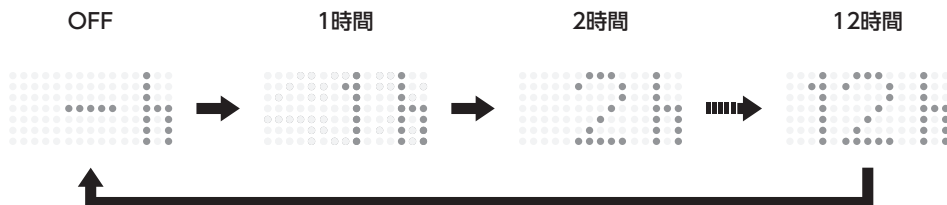
ディスプレイ

◎設定時間を「1時間」に設定していた場合



- ② ディスプレイの点滅中に繰り返し『タイマー』ボタンを押して、設定時間を切り替えます。
- 設定時間は1時間単位で切り替わります。
 - 点滅中に他のボタンを押した場合は、表示していた時間で設定されます。

ディスプレイ



- ③ 時間を設定したあと、ディスプレイが点滅表示から点灯表示に切り替わると、設定が完了します。

メモ 1時間経過するごとに残り時間が切り替わって表示されます。

- ④ 設定した時間が経過すると運転を停止します。

■ オフタイマーを解除する

『タイマー』ボタンを繰り返し押して設定を「-h」にすると、オフタイマーが解除されます。

ご使用方法

UV運転する

UVライトにより本体（水そう部）の水を抗菌処理します。

警告



禁止

UV運転中にUVライトを直視しないでください。

UVライト点灯時に長時間肉眼で見続けると、視力低下や失明するおそれがあります。

■ UV運転を開始する

運転中にリモコンの『UVライト』ボタンを押すと、ディスプレイに「UV」と約5秒間表示して、本体（水そう部）のUVライトが点灯します。

■ UV運転を停止する

もう一度リモコンの『UVライト』ボタンを押すと、ディスプレイに「—」と約5秒間表示して、本体（水そう部）のUVライトが消灯します。



メモ 本体からはUV運転の開始と停止はできません。

チャイルドロックを設定する

チャイルドロックを設定すると、小さなお子様が誤って操作することを防止できます。

■ チャイルドロックを設定する

運転中にリモコンの『ロック』ボタンを押すと“ピッ”と電子音が鳴って、ディスプレイに「LOCK」と表示され、『ロック』ボタン以外のボタン操作ができなくなります。

■ チャイルドロックを解除する

もう一度リモコンの『ロック』ボタンを押すと“ピッ”と電子音が鳴って、ディスプレイの「LOCK」表示が消灯して解除されます。



メモ 本体からはチャイルドロックの設定と解除はできません。

■ チャイルドロック設定中のディスプレイ表示について

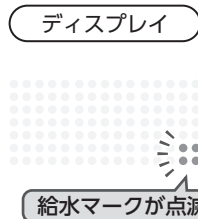
設定完了後に「LOCK」と約5秒間表示したあと、周囲湿度の表示に切り替わります。
何かボタンを押したときは「LOCK」表示に切り替わりますが、ボタン操作は取り消されます。

水タンクの水がなくなると

■ 給水のお知らせ

水タンクの水がなくなると“ピッピッピッ”と電子音が鳴って、ディスプレイに給水マークが点滅表示され、自動で運転を停止します。

引き続きご使用になる場合は、水タンクに給水したあとしばらく待つと運転を再開し、ミストまたはスチームが出ます。



メモ 運転中に水タンクを持ち上げると、給水のお知らせと同様にディスプレイに給水マークが点滅し、自動で運転を停止します。
引き続きご使用になる場合は、水タンクを取り付けてください。

お手入れと保管方法

警告



必ず守る

お手入れや点検、保管の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電やけがの原因になります。

注意



必ず守る

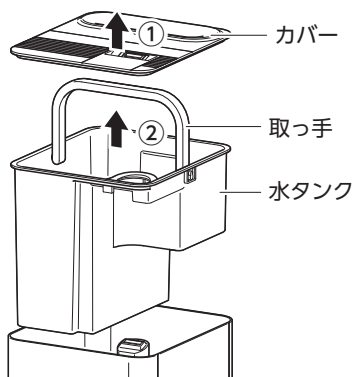
長期間使用しない場合や、お手入れ、保管の際は、水タンクと本体（水そう部）に残った水を捨ててください。

- 水タンクと本体（水そう部）に水が入ったままでお手入れをすると、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。
- 水タンクと本体（水そう部）に水が入ったままに保管すると、雑菌やカビが繁殖し異臭の原因になります。

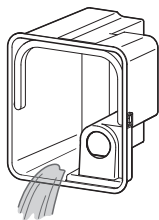
各部のお手入れは週に2回以上おこなってください。

■ 水の捨てかた

- ① カバーを取り外します。
- ② 水タンクを取り外します。
取っ手を起こしてつかってください。



- ③ 水タンクに残った水を捨てます。

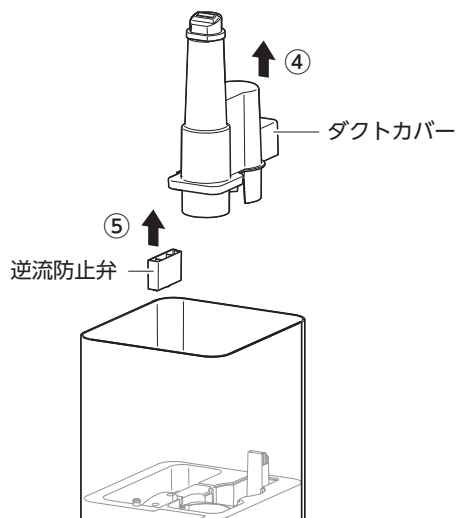


- ④ ダクトカバーを取り外します。

注意

水を捨てる際は、必ずダクトカバーを取り外してください。
水漏れの原因になります。

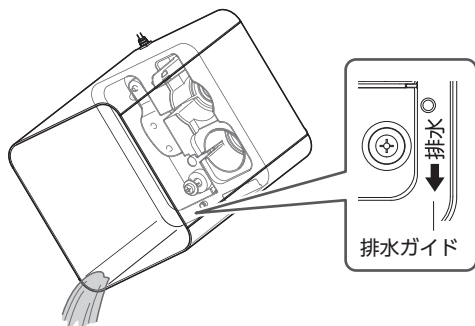
- ⑤ 逆流防止弁を取り外します。



⑦ 本体(水そう部)に残った水を捨てます。

注意

- 排水ガイドから水を捨ててください。
- ダクトから本体内に水が入らないようご注意ください。
- 水漏れや故障の原因になります。
- 水を捨てる際は、必ずダクトカバーを取り外してください。
- 水漏れの原因になります。



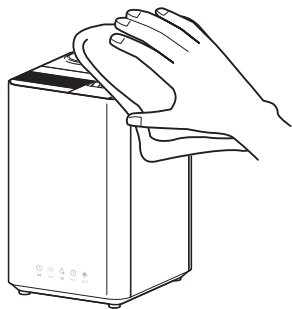
■ 本体外側のお手入れ

柔らかい布で乾拭きしてお手入れしてください。

汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかい布で汚れを拭いたあと、洗剤が残らないように固くしぼった柔らかい布で拭き取ってください。

仕上げに柔らかい布で乾拭きしてください。

- お手入れには塩素系・アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
- お手入れのあとは水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。

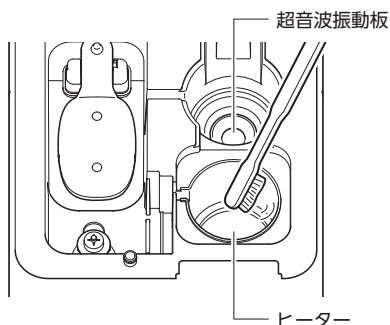


■ 本体(水そう部)のお手入れ

- 前ページの「水の捨てかた」に従って、部品を取り外し、水タンクと本体(水そう部)の水を捨てて、本体外側と同様のお手入れをしてください。
- ヒーター部周囲と超音波振動板は、歯ブラシなどの柔らかいブラシでこすって汚れを落としてください。
 - 金属製のブラシなどでこすると、傷が付き、故障の原因となりますので、使用しないでください。
 - 超音波振動板の汚れを取り除く際は、衝撃を与えないよう丁寧に取り除いてください。

注意

ハイブリッドモードとスチームモードの運転停止直後は、ヒーターと超音波振動板が高温になっているため、直接触れないでください。



- 汚れがひどい場合は、クエン酸水溶液(目安濃度：1～5%)を水そう部に注水し、約1時間程度おいたのち、歯ブラシなどでこすって汚れを落としてください。

注意

- クエン酸は付属しておりません。市販品をお買い求めください。
- クエン酸水溶液の濃度が濃すぎると、本体が破損するおそれがあります。
- 金属ブラシなどの硬いものでこすらないでください。
- ダクトに水が入らないように注意してください。本体の故障や水漏れの原因になります。

点検・修理

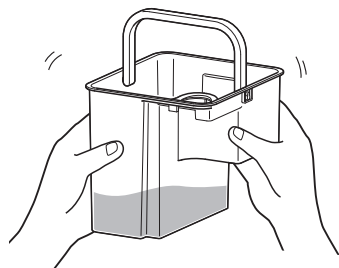
■ 水タンクのお手入れ

● 外側のお手入れ

本体の外側と同様のお手入れをしてください。

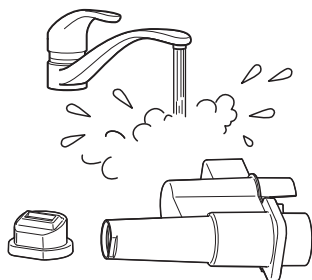
● 内側のお手入れ

少量の水を入れて軽く振り洗いしたあと、水を捨てます。
汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を使用し、
洗剤が残らないよう、しっかりすすいでください。



■ 取り外した部品のお手入れ

本体外側と同様のお手入れをするか、水洗いをしたあと、陰干しして十分に乾かしてください。



メモ

抗菌カートリッジは、
約6か月を目安に交換
してください。

■ 吸気口のお手入れ

- ・本体底面のフィルターカバーを取り外し、ほこりを掃除機で吸い取ってください。
- ・吸気フィルターとフィルターカバーは水洗いをしたあと、平らな場所で陰干しして十分に乾かしてください。

■ 取り外した部品を取り付ける

破損などがいないことを確認し、取り外したときの逆の手順で取り付けてください。

■ リモコンのお手入れ

リモコンのボタン電池を取り外し、本体外側と同様のお手入れをしてください。

■ 保管方法

- ・水タンクと本体（水そう部）の水は必ず捨ててください。
- ・お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。
湿ったまま保管すると、カビの発生や異臭、故障の原因となります。
- ・お買い上げ時の箱に入れるか、ポリ袋などで包み、直射日光を避け、湿気の少ない所に保管してください。

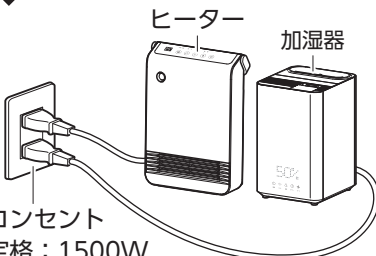
コンセントの点検

- コンセントなどの配線器具には寿命があります。
経年劣化、または誤った使いかたにより焼損や火災の原因になる場合があります。

誤った使いかたの例

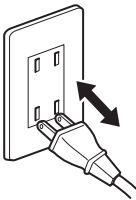
✖

定格容量いっぱい使用する



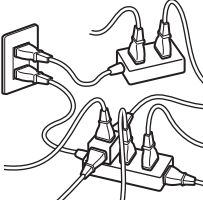
✖

電源プラグを斜めに抜き差しする



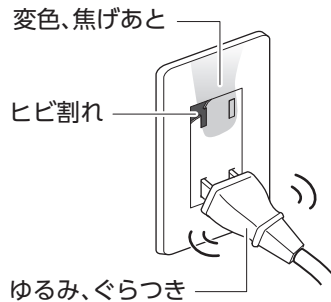
✖

タコ足配線する



- 次のようなコンセントはすぐに交換をしてください。

- ・電源プラグの抜き差しがゆるい。
 - ・電源プラグやコンセントが熱い。
 - ・表面が変形（ふくれ、ヒビ割れなど）している。
 - ・表面が変色、焦げあとがある。
- そのまま使い続けると焼損、火災の原因となります。





注意



禁止

破損または曲がっている電源プラグを無理矢理コンセントに差し込まないでください。
焼損や火災、事故の原因になります。

故障かな?と思ったら 修理を依頼される前に、下記項目の確認をお願いします。

症 状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	・電源プラグが外れている。	・電源プラグをコンセントに接続してください。
運転しない	・『電源』ボタンを押していない。 ・湿度設定モードの設定時に、周囲湿度が設定湿度を超えている。	・『電源』ボタンを押して運転を開始してください。 ・設定湿度を周囲湿度よりも高くなるように変更してください。
異臭がする	・水タンク、本体（水そう部）などが汚れている。	・『お手入れと保管方法』に従って、定期的にお手入れをしてください。

点検・修理

症 状	考えられる原因	対処方法
運転が停止した	・水タンクの水がなくなった。 ・オフタイマーが作動して停止した。 ・湿度設定モードの設定中に、周囲湿度が設定湿度よりも高くなった。	・水タンクの水がなくなると警告音が鳴り、ディスプレイに「給水マーク」が表示されて自動で運転を停止します。 引き続きご使用になる場合は、水タンクに給水したあとしばらく待つと運転を再開します。 ・引き続きご使用になる場合は、『電源』ボタンを押してください。 ・周囲湿度が下がるまでお待ちいただくか、連続運転でご使用ください。
湿度が上がらない	・適用床面積を超えた部屋で使用している。 ・部屋の窓やドアが開いている。	・適用床面積内でご使用ください。 ・窓やドアを閉めてご使用ください。
スチームが出ない	・本体（水そう部）の水が沸騰していない。	・スチームモードを設定してから、約4分後に高温のスチームが出始めます。
本体から“カチッ”と音がする	・スチームモードまたはハイブリッドモードへ運転モードを変更したときにヒーターが作動または停止した。	・本体内部のヒータースイッチの作動音になります。異常や故障ではありません。
運転を停止しても吹出口から風が出ている	・スチームモードまたはハイブリッドモードの運転を停止した直後である。	・運転を停止したあとは、内部冷却のため約30秒間の送風運転をおこないます。
ボタンが操作できない	・チャイルドロックを設定している。	・ボタンを押したときに、ディスプレイに「LOCK」と表示されると、チャイルドロックが設定されています。リモコンの『ロック』ボタンを押して解除してください。
UV運転の設定ができない	・本体操作部で設定しようとしている。	・UV運転は本体操作部からは設定できません。リモコンの「UVライト」ボタンを押して設定してください。
ヒーター部の周囲に汚れが付着する	・スケールや水あかが付着している。	・「お手入れと保管方法」に従って、定期的にお手入れしてください。ヒーター部の汚れがひどい場合は、クエン酸を使用してお手入れしてください。
運転中に電源が切れる	・ヒーター部がスケールで覆われている。	・ヒーター部がスケールで覆われると内部の温度が上がり、安全装置が作動して電源が切れます。「お手入れと保管方法」に従って、ヒーター部をお手入れしてください。
水タンクから本体（水そう部）に水が流れない	・水タンクの給水弁周囲が汚れている。	・水タンクのお手入れをして、給水弁周囲の汚れを取り除いてください。

※ 上記の点検をおこなっても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。